



おはようロスアンゼルス

倫理研究所U.S.A. 南カリフォルニア倫理の会

3月号会報

2202 W. Artesia Blvd. Unit L Torrance, CA 90504

Fax: (310) 323-6737

2015年(平成27年) 3月1日(日)

NO. 162

倫理文化講演会

三月八日(日)

午後一時三十分〜

ホリデーイン・トーレン
ス

藤崎正剛部長

「生きぬく力」



三月八日は 夏時間
一時間早くになります。

目標一五〇名

文化講演会が目前に迫って来
ました。テレビ、ラジオ、新
聞、雑誌など、メディアの宣
伝は役員が一所懸命努めてい
ます。あとは、会員皆様の地
道なお声掛けです。お友達に
知らせてください。幸せにな
る生活の法則があることを講
演会で知って頂いて、幸せに
なって頂きましょう。

三月八日の日程

八時半〜九時半

モーニングミキサー

九時半〜十一時

コーヒータム

早めの昼食(オフィス)

十一時

ホリデーイン集合

十一時〜四時

講演会準備

講演

後片付け

四時半

シーエンプレス集合

懇親会会食

昼食と会食は前田グレースさ
んに申し込んで下さい。人数
確認が必要です。

記念撮影をしますから、ホリ
デーインに十一時集合をお守
り下さい。

尾崎勝宏普及部長が毎週参加
人数の集計をしています。

お誘い三回、お礼一回を心に
置いて、最後までお誘いを続
けましょう。

来る、来ないはあちらの方
が決めること、私たちは、心
を込めてお声をかける実践を
いたしましょう。

純粋倫理勉強会

毎土曜日 午後一時〜三時

オフィスにて

参加自由

飯田隆事務局長が提唱し、
梅本豊造元会長を講師として
毎週土曜日、純粋倫理勉強会
が始まりました。

『万人幸福の葉』を中心に
八日後の日曜日にあたる条を
学びます。毎回新しい条を学
びますので、いつでも、いつ
からでも学べるカリキュラム
になっています。

土曜日は時間を作ってオフ
イスへ来て下さい。自分が倫
理を知らなければ他人様にも
勧められませんが、倫理は知
れば知るほど感動します。
皆様の参加をお待ちしてい
ます。

コンピュータークラスを
再開します

しばらくお休みしていた、
前田トムさんのコンピュータ
ークラスが再開されます。

月曜日、午後一時〜三時で
すが、変更がある時はその都
度、前田さんからメールで連
絡があります。皆さん、PC
を勉強しましょう。

実践報告

物は生きています

一班 草野律子

私は、毎朝仕事場に入る
時。「おはようございま
す!」と言って、お店に挨拶
をします。中に入る時も
キャッシュレジスターやコ
ンピューター、ヒーターや
商品に「おはようございま
す。今日もよろしくね」と
声をかけてから、一日が始
まります。店を閉める時に
も、「お疲れ様!今日もあ
りがとうね」と言って、ポ
ンポンと肩をたたくように
して帰ります。そういう風
にしていると、何だか自分
の気持ちが悪く着き、今日
も頑張ろう!頑張ったな・
・・という気持ちになりま
す。不思議だけれど、続け
ていると、いつも温かい気
持ちになります。

フライヤーと葉書

文化講演会のフライヤー
と葉書をたくさん作りまし
た。知人、友人に郵送しま
しょう。切手は誌友係りの
梅本和子さんにもらって下
さい。幸せな社会は自分が
作ります。

おめでと〜うございます

『しきなみ』二月号

群策集 (西東京・海外)

入選 草野律子

照れ笑いしたる夫とはしやく子等の声よみがえる昔の短歌に

飛雲集 (西東京・海外)

入選 伊澤潤子

小海線ふるさとなまりの懐かしく帰ってき
たとしみじみ思う

『秋津書道』一月号

競書

入選 滝川政和

芸術部 碧の部・かな

二席 長谷川きみ子

高等部 (東京)

八席 梅本豊造

々々

入選 堀井幸江

々々

入選 咲田静子

々々

入選 榊中恵美子

一般部 (東京) 行書

入選 草野律子

々々

入選 高田弓子

一般部 (東京) 楷書

調和体

三席 滝川政和

芸術部 碧の部

安置 志深慮

南カリフォルニア 長谷川松子

2席 長谷川松子

線がとてもきれいで行書の
優しい字形を捉えています。

秋津賞特選作品

草野律子

一般部



米国南カリ

油臭き
お帰りの
夫の手に
溢れむばらの
薔薇
花束

作者のことば 「お帰りなさい」玄関のドアを子供達と開けると、夫が照れくさそうに立っていました。15年前の私の誕生日。懐かしい短歌を引っ張り出して、筆で書いてみました。

しきなみ短歌
灰色の空から雪が降り積もりまるで世界はモノクロ写真
テレビジョンの合図にあわせ乾杯をせんと
孫達年越しを待つ
滝川歌子
富有柿色づき初む霜月にあまた実りて古木の今も
奥本洋子

雨上がりおだしき日差しのさ庭辺に渡り来る風
冬の訪れ 杉野和子
美しい花に囲まれ祭壇に姉の遺影は微笑みてお
り 長谷川松子
ゴミ集めさあちりとりに入れようとすれば見て
いた風吹き散らす 塩田笑子
孫たちは信じて待つてるプレゼント今年も来る
かなサンタクロース 飯田隆
吹き荒れる豪風の音に目を覚ますやしの枯葉が
次々落ちぬ 梅本豊造
鏡餅しめなわ飾りを賜りて我家の年賀日本さな
がら 梅本和子
生い茂る雑草に埋れ這う草の白い小花よなんと
愛し 門園美枝子
手を離れ空へ逃げ行く風船を見つめる一歳のあ
どけない口 ホン史子
スカイプで会えし男孫のテオちゃんは大きな欠
伸にシャツクリ始める 松永典子
ポータタワー見える海辺の喫茶店母と分け合う
ホットケーキ 尾崎よしみ
年末のサトウキビ刈り入れ時期になり目に浮か
ぶ兄妹の多忙さ 与那覇寛雄
角曲がり目に飛び込んだ雪の峰南加の冬の訪れ
を見る 森田のりえ
菜の花の揺れるむこうに大らかな開闢岳の緑の
深さ 草野律子
向日葵は砂漠の町に芽を出して聖夜の朝に生き
ようとす 摺木洋子
突然に「俺ガンやねん」と友からの優しく胸を貫
く一言 矢口裕司